



みなみ お ぐにちやうりつみなみ お ぐにちやうがつこう
南小国町立南小国中学校
令和2年5月8日(金) No4

ぶんせき はさまたかふみ
文責 狭間卓史



「正しく学び続ける」

5月1日～3日に、「みなみチャンネル」ご協力のもと倉岡巧先生の人権講話が放映されました。

この講話は倉岡先生が本町の人権教育指導員となられてから継続して取り組んでいただいていたことで、本校では人権教育の新年度スタートの機会として位置づけているものです。倉岡先生の講話に学び続けて12年。折しも、新型コロナウイルス感染症への不安が大きくなっている今、2003年のハンセン病元患者の方々への宿泊拒否事件を契機に学んできた本町だからこそ、学び続ける理由があると思っています。

今年の在校生は79名。全校生徒とその背後にいらっしゃるご家族の皆さん方にとって、本校が安心して学べる場となり得るように取り組んでいく所存です。



【放送の一場面】

「第二弾、第三弾・・・」

安心メールや本校ホームページでもご紹介していますように、臨時休校に伴う学習指導の一環として、「みなみチャンネル」ご協力のもと、テレビ授業に取り組んでいます。第一弾が「英語」と「数学」、そして第二弾が「国語」と「理科」、そして来週11日(月)からは第三弾として全教科で取り組みます。15分のテレビ講座を視聴した後、30分程度の学習問題に取り組むという構成で取り組んでいます。本校職員も、通常の学習指導を大幅に見直し、テレビ用に構成し直すという作業に追われる毎日です。

また、そういう準備と並行して、タブレットを活用したオンライン授業の準備も進めています。タブレットの台数が限られていますので全学年を一斉に行うことは出来ませんが、出来ることを、出来るところから取り組んでいきます。



【理科の放送画面から】



【体育の収録風景】



【社会科の収録風景】

「いつもどおり」

静かな校庭に響く聞き覚えのある鳴き声。外に出てみると、近くの電線にツバメが二羽。毎年の光景なのですが、今年はいつも以上に嬉しく感じています。

